


1 学校教育目標	教育目標…… 1 広い教養と専門的な知識技術を身に付け、望ましい勤労観・職業観を養う。 2 感謝の気持ちを持ち、地域や社会に貢献する心と態度を養う。 3 自ら思考し、判断し、責任ある行動のとれる主体的能力、態度を養う。 4 強い使命感と倫理観を持ち、創造性豊かで挑戦し続ける産業人の育成を図る。 育てたい生徒像…… 社会人として自発的・自律的に行動できる。 1 基礎学力を含めた広い教養と専門的な知識技術を身に付けている。 2 基本的な生活習慣及び規範意識や倫理観を身に付けている。 3 協調性、忍耐力やコミュニケーション能力を身に付けている。 4 主体的に学び続ける姿勢を身に付けている。	 校訓 勤労愛好 報恩感謝 自発自律 ひとづくり&ものづくり 100年へ向けて
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)	○基礎学力テストについては、内容と指導方法を詳細に検討し、就職試験に対応させる。 ○授業アンケートについては、生徒のニーズを把握し、学習意欲が向上する授業となるよう、授業の工夫・改善に取り組む。 ○Webページについては、コンテンツの掲載方法を工夫し、より新鮮な情報を早く提供できるように改善を進める。 ○通学路の危険箇所の確認や交通ルールを守る規範意識の向上を図るとともに、自転車乗車中のルール順守とマナーの指導等を通して、交通事故対策に努める。 ○生徒の規範意識をさらに高めるよう、全教員が共通理解のもと、引き続き粘り強く取り組む。 ○いじめ防止については「山口県立小野田工業高等学校いじめ防止基本方針」に基づいて、引き続き全教員が未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。 ○生徒の健康意識は高まりつつあるが、さらに高い目標を設定し、自己管理能力を向上させたい。特に歯科治療への取り組み意識が低いので、健康上と仕事をする上での歯の健康の重要性を理解させる努力をするとともに治療率の向上を目指す。 ○PTAや地域との連携を推進し、生徒の進路意識・学習意識の向上により、一次募集での合格につながるよう、きめ細かに個別指導を徹底する。指導内容を充実させ、今年度も進路決定率100%を目指す。 ○資格試験については、学科間の連携を取り、ジュニアマイスターポイント1800点以上を目指す。指導については、担当者と担任が連携を取りながら、補習等を行い合格率の向上を目指す。 ○体験入学については、本校への志願者を増やすために、体験入学の充実や出前授業、外部と連携した学校のPR活動に積極的に取り組む。 ○引き続き、委員会や職員会議、校務分掌活動の円滑な運営や業務時間の適正化に取り組む。
------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題及びチャレンジ目標	1 凡事徹底 2 規律ある安心・安全な学校づくりと組織的な危機管理 3 新たな百年の礎づくりに向けた行動 (1)【学習指導】 ・基礎学力及びものづくり人材に必要な学力や技術の定着 ・互見授業、研究授業、授業評価を活用した授業研究と授業改善 ・主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業実践 (2)【生徒指導等】 ・基本的生活習慣の確立と規範意識の向上 ・命の大切さや人権を尊重する心や態度の育成 ・交通法規の遵守とマナーの向上 ・部活動や特別活動の活性化 (3)【校務分掌・その他】 ・業務の見直し・効率化と勤務体制の改善 ・情報共有と緊密な連携による組織的対応の習慣化 ・コミュニティスクールの活用と円滑な運営 ・地域、企業、異校種などとの積極的な連携及び情報発信	本年度のチャレンジ目標 ①ジュニアマイスター全校生徒の獲得得点 1800点以上 ②1年間皆勤 全生徒の60%以上
---------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

4 自己評価				5 学校運営協議会委員評価		
重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	実践目標の達成状況の診断・分析	学校運営協議会委員からの意見・要望等	
教務	基礎学力の定着向上及び学習意欲の育成と学校・家庭・地域との連携強化	・「基礎学力テスト(漢字・数学・英単語)」の計画的な実施と内容の充実及び基礎学力の定着を図る。 ・授業評価アンケートの内容を精選し、年1回の実施とその結果から生徒の実態を把握し、生徒に即した授業を行うとともに、授業改善に繋げる。 ・授業等で学校図書館の積極的な活用を図り、読書活動の推進につなげる。	4: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が50%以上であった。(欠席者は除く) 3: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が40%以上50%未満であった。(欠席者は除く) 2: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が30%以上40%未満であった。(欠席者は除く) 1: 計画どおり3回実施し、全体を通した成績優秀者(平均80点以上)の割合が30%未満であった。(欠席者は除く)	4	予定通り3回実施し、全体の受験者数が298名に対し、総合平均が80点以上の者が154人と51.7%の生徒が評価基準を上回った。 各3回のテスト合計点が学年の上位10位以内の生徒が10人以上を超える学年・科目もあり、基礎学力の指導に一定以上の成果を見て取ることができる。	・授業評価アンケートが年1回ではなく、もっと増やしたほうが良い。授業改善のために実施してほしい。 ・朝読書は静かな雰囲気の中で学校を始められることから良い取り組みであるので続けて行うほうが良い。
		4: 年1回の実施と、その結果から生徒の実態に即した授業を行えているが90%以上である。 3: 年1回の実施と、その結果から生徒の実態に即した授業を行えているが80%以上である。 2: 年1回の実施と、その結果から生徒の実態に即した授業を行えているが70%以上である。 1: 年1回の実施と、その結果から生徒の実態に即した授業を行えているが70%未満である。	4	今年度より、昨年度のアンケート内容を見直し、項目の精選を行った。 普通科目や工業科目のどちらにおいてもアンケートの結果から90%以上の生徒が主体的に授業に取り組んでいる様子が分かる。また、教員の授業展開や教材活用に関するアンケート項目に対しても、90%以上の生徒が概ね良い評価を選んでいる。 今年度は、普通科目は文系・理系・実技、工業科目は座学・実習と分けて分析を行ったが、大きな差異は見られず、本校の生徒はどの科目に対しても意欲的に取り組んでいる。 ただし、工業科目においてはやはり実習に対して座学がやや評価が下がるため、座学にも視覚的な教材の活用や実験を行うなどの工夫が必要である。		
		4: 年間平均で、週4コマ以上の利用があった。 3: 年間平均で、週3コマ以上の利用があった。 2: 年間平均で、週2コマ以上の利用があった。 1: 年間平均で、週1コマ程度の利用にとどまった。	2	図書館は、普通教室に比べて、ICT教材やグループ活動を行いやすい場所であるが、電子黒板導入を境に需要が大きく減った。ただし、積極的に活用したことや図書購入などの影響により、利用者数は昨年度よりも増加している。今後は、専門教科の学習での活用を呼びかけ、利用増加につなげていきたい。 図書館および図書委員会では毎年行っている山陽小野田市立中央図書館での展示や文化祭の参加を通じて図書館のアピールや読書活動の推進に取り組んでおり、3学期には10分間の朝読書を来年度からの実施に向けて2日間試験実施した。今後もこれらの活動を見直ししながら進め、図書館運営を行っていきたい。		
		・Webページによる積極的な情報発信を推進し、多くの人に本校の情報を提供する。	4: 昨年度より、閲覧件数が10%以上増加した。 3: 昨年度より、閲覧件数が5%以上増加した。 2: 昨年度と同程度の閲覧件数にとどまった。 1: 昨年度より、閲覧件数が減少した。	4	直近20日間の閲覧件数が約11%増加している。昨年度に比べ年度前半は記事更新が減少したが、年度後半に入り学校行事などの記事更新があったことにより、関心が集まったように見える。 記事については積極的に発出している分掌とそうでない分掌があるため、閲覧者のニーズを考慮しながら記事更新への働きかけを行っていきたい。	

生徒	<p>・交通安全指導や交通安全講習、立哨指導などを行い、交通安全や命の大切さについての意識の向上を図り、交通事故をなくす。</p> <p>・頭髪服装検査をおして規範意識の醸成を図り、礼儀やマナーの指導を行う。</p> <p>・生徒に対し、アンケート調査を実施し、いじめの根絶を図る。</p> <p>・健康診断の事後指導を通じて、健康に対する意識と自己管理能力の向上を図る。特に、歯科の治療率の向上を図る。</p>	<p>4: 年間を通して事故件数が7未満件であった。(全校生徒の2%)</p> <p>3: 年間を通して事故件数が10件以内であった。(全校生徒の3%)</p> <p>2: 年間を通して事故件数が14件以内であった。(全校生徒の4%)</p> <p>1: 年間を通して事故件数が20件以上であった。(全校生徒の6%)</p> <p>4: 初回の頭髪服装検査の合格率が90%以上だった。</p> <p>3: 初回の頭髪服装検査の合格率が80%以上だった。</p> <p>2: 初回の頭髪服装検査の合格率が70%以上だった。</p> <p>1: 初回の頭髪服装検査の合格率が70%以下だった。</p> <p>4: 年3回の実施ができ、いじめの再発防止に結び付いた。</p> <p>3: 年3回の実施ができ、いじめ対策(指導)に結び付いた。</p> <p>2: 年3回の実施をしたが、いじめ対策(指導)に結び付かなかった。</p> <p>1: 年2回以内の実施に止まった。</p> <p>4: 事後指導を実施し治療率が40%を超えた。</p> <p>3: 事後指導を実施し治療率が30%~40%未満だった。</p> <p>2: 事後指導を実施し治療率が10%~20%未満だった。</p> <p>1: 事後指導を実施したが治療率が10%以下だった。</p>	4	<p>今年度は、交通事故の報告は1件も上がっていない。今後、生徒各自が交通安全、命の大切さを自覚して事故の無い登下校をしてほしい。</p>
進路指導	<p>・生徒の進路希望に資する企業訪問の実施と就職サポートの一環としてのキャリア交換を推進することで、教育の活性化と個々の進路希望の実現を図る。</p> <p>・年間を通じて充実したPTA活動を推進するため、保護者の協力を積極的に働きかけることにより、総会を始めとする各種行事への参加者を増加させる。</p>	<p>4: 生徒の95%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>3: 生徒の90%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>2: 生徒の85%以上が希望通りの進路を決定した。</p> <p>1: 生徒の85%未満しか希望通りの進路を決定できなかった。</p> <p>4: 280人以上の求人確保ができた。</p> <p>3: 230人以上の求人確保ができた。</p> <p>2: 180人以上の求人確保ができた。</p> <p>1: 180人未満の求人しか確保できなかった。</p> <p>4: PTA関連行事への参加者がのべ200人以上であった。</p> <p>3: PTA関連行事への参加者がのべ170人以上であった。</p> <p>2: PTA関連行事への参加者がのべ150人以上であった。</p> <p>1: PTA関連行事への参加者がのべ130人未満であった。</p>	4	<p>・今年度のPTA活動の実施が困難であったことは仕方ない。</p> <p>・来年度は、PTA活動は中止にするのではなく、今だからこそできる教育活動の実施を目指してほしい。</p>
工業	<p>資格取得に向けて積極的に働き掛け、ジュニアマイスターポイント1800点を達成した。</p> <p>・親科学教室、体験入学、かがく博覧会、ものづくりフェア、出前文化祭、小工祭等において工業の魅力や近隣の方々に伝える。</p>	<p>4: ジュニアマイスターポイント1800点を達成した。</p> <p>3: ジュニアマイスターポイント1600点以上であった。</p> <p>2: ジュニアマイスターポイント1400点以上であった。</p> <p>1: ジュニアマイスターポイント1400点未満であった。</p> <p>4: 7回以上の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>3: 6回以上の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>2: 5回以上の行事に出場し、本校をPRした。</p> <p>1: 本校をPRした行事への出場が、4回以下であった。</p>	3	<p>・今年度は出前授業や学習ボランティアを実施してほしい。</p> <p>・部活動方針の周知徹底が必要である。</p> <p>・目標達成は難しいが、30%削減のためにこはとを減らせるか、さらに検討してほしい。</p>
業務改善	<p>学校の組織等校務のICT化の推進</p> <p>・議題の精選及び情報の共有や会議の共有を進め、会議の効率化をさらに進める。</p>	<p>4: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築が完了した。</p> <p>3: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築が完了し、活用が不十分だった。</p> <p>2: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築、活用ともに不十分だった。</p> <p>1: 校務のICT化及び職員間の情報共有、情報発信の新たなシステム構築も活用できなかった。</p> <p>4: 議題の精選、情報の共有等が改善され、会議の効率化が行われた。</p> <p>3: 議題の精選、情報の共有等がある程度改善され、会議の効率化が図られた。</p> <p>2: 議題の精選、情報の共有等が不十分で、会議の効率化にあまり効果が現れなかった。</p> <p>1: 議題の精選、情報の共有等がほとんどできず会議の効率化に全く効果がなかった。</p>	4	<p>・夏休みの中学校補習に高校生がボランティアで参加してほしい。</p> <p>・多くの学校で中止になったなか、インターンシップが実施できたことは素晴らしい。</p>
地域連携	<p>近隣の小中学校生に対する教育活動の周知</p> <p>・親子科学教室、中学生の勉強会や出前授業において、工業の魅力や近隣の方々に伝える。</p>	<p>4: 5回以上の行事に参加した。</p> <p>3: 4回以上の行事に参加した。</p> <p>2: 3回以上の行事に参加した。</p> <p>1: 2回以下の行事に参加した。</p> <p>4: 地域と連携した行事に5回以上参加した。</p> <p>3: 地域と連携した行事に4回参加した。</p> <p>2: 地域と連携した行事に3回参加した。</p> <p>1: 地域と連携した行事に2回以下参加した。</p>	1	<p>・夏休みの中学校補習に高校生がボランティアで参加してほしい。</p> <p>・多くの学校で中止になったなか、インターンシップが実施できたことは素晴らしい。</p>
6 学校評価総括(取組の成果と課題)				
<p>【教務】夏季休業の縮減により、2学期は例年より長く、試験範囲が広がったが、成績優秀者が増え、欠点保持者が減った。風邪症状や発熱による欠席が、出席停止扱いとなったこともあり、皆勤者が増えた。また、一人ひとりが感染症対策に努め、学習活動を行えているため出席率が昨年より改善された。交通事故は0件であった。いじめ事例は昨年発生した事例について経過観察中である。その他、アンケートや、教職員の日常生活の観察により、迅速対応ができ、未然防止につながっている。今年度の健康指導は、コロナウイルス感染症対策を最優先に行った。【進路指導】コロナウイルス感染症により対面での企業訪問が制限され、求人数は前年度比22%減となった。しかし、3年前の求人数より多く、恵まれていた状況にある。1次合格率は97%であった。公務員情報共有化は、校内ポータルサイトの活用が定着した。会議の効率化は、前年度よりさらに進められた。【業務改善】情報の共有化は、校内ポータルサイトの活用が定着した。会議の効率化は、前年度よりさらに進められた。【工業】生徒数減と資格試験が中止になったものも多く、結果的にジュニアマイスターポイントが増加した。【工業】生徒数減と資格試験が中止になったものも多く、結果的にジュニアマイスターポイントが増加した。【工業】生徒数減と資格試験が中止になったものも多く、結果的にジュニアマイスターポイントが増加した。【工業】生徒数減と資格試験が中止になったものも多く、結果的にジュニアマイスターポイントが増加した。</p>				